

4/18 本稿

受診控え考慮せず

宮本氏批判

高齢者医療費2倍化 “決め方乱暴”



質問する宮本徹議員
16日、衆院厚労委

日本共産党的宮本徹議員は16日の衆院厚生労働委員会で、75歳以上に窓口2割負担を導入する「高齢者医療費

2倍化法案」に対し、患者の受診控えを考慮せず2割負担の対象者が決められた実態を告発し、2割負担が導入されれば次々と対象拡大される危険性をただしました。

宮本氏は、「年収200万円以上」(3割負担対象者を除く)と付費減の全体の半分程度とした2割負担の基準を

2倍化法案」に対して、政府が検討

議に受診控えの影響額

していった同155万円以上(240万円以上)の間の基準5ケースごとの受診控えの影響を

ただしました。厚労省

宮本氏は、「年収200万円以上」(3割

負担対象者を除く)と付費減の全体の半分程度とした2割負担の基準を

を示していなかったことも認めました。宮本氏は「受診控えの数字すら示さないのは、きわめて乱暴な決め方だ。与党協議からやり直すべきだ」と追及しました。

そのうえで宮本氏は、2割負担の所得基

準を選んだわけではない」と言い放ちました。宮本氏の追及に対し、浜谷局長は、厚労省が法案作成の与党協

議に受診控えの影響額

を示していなかったこ

とも認めました。宮本

氏は「受診控えの数字

すら示さないのは、き

わめて乱暴な決め方

だ。与党協議からやり

直すべきだ」と追及し

ました。

がこの間、保険財政を

踏まえて「(対象拡大

は) 検討することにな

った」よう」と答弁し

たことをあげ、「歯止

め、2割負担導入後、

対象者を次々と拡大し

て事实上「原則2割負

担」にできる内容だと

つて」よう」と答弁し

た」と批判しました。

めなく時の政権の判断

で拡大できるところ

とだ。こんな法案は許

されない」と批判しま